

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局

<目 次>

・理事会報告

- (1) 第 19 回大会（於鳴門教育大学）関連日程等について
- (2) 理事選挙について
- (3) 投稿要領の改正について
- (4) 『カリキュラム研究』第 17 号編集状況
- (5) その他（各種委員会報告ほか）

・事務局から

——< 理事会報告 >——

[2008 年 3 月 8 日(土)午後 1 時半～4 時 45 分 (於) 筑波大学附属学校教育局]
今年度 3 回目の理事会が 3 月 8 日(土)午後 1 時半から 5 時半まで、都内（茗荷谷）の筑波大学附属学校教育局で開催されました。理事 15 名、事務局 3 名が参加し、下記の議題を審議・決定しました。

[議題]

(1) 第 19 回大会（於鳴門教育大学）関連日程等について

大会関連日程について、下記の原案通り承認された。

大会開催日：2008 年 7 月 5 日（土）6 日（日）（*4 日（金）に理事会を開催）

自由研究発表の申込締切日：2008 年 4 月 21 日（月）大会事務局必着

（原則として電子メール。大会校より確認メールを送付予定）

大会プログラム発送予定日：2008 年 5 月下旬～6 月初旬

自由研究発表の要旨提出締切日：2008 年 6 月 2 日（月）大会事務局必着

課題研究・公開シンポジウムの発表題目および提案者に関し、各世話人より前回理事会以降の進捗状況の説明・提案があった。審議の結果、以下のとおり決定した。

1) 課題研究

課題研究Ⅰ：「学習指導要領の基準性を問い直す（2） —教育課程に関する国家基準の国際比較—」

（世話人）小泉祥一理事、中留武昭理事、新井郁男理事、山口満理事

（司 会）安彦忠彦顧問、小泉祥一理事

（提案者）石井英真会員、高橋英児会員、竹川慎哉会員、他 1 名

（指定討論者）磯田文雄理事、新井郁男理事

（概要執筆）小泉祥一理事

課題研究Ⅱ：「カリキュラム研究におけるヒドゥン・カリキュラムの位相（2） —教育実践研究への応用を切り口に—」

（世話人）長尾彰夫理事、田中統治代表理事、豊田ひさき理事

（司 会）長尾彰夫理事、田中統治代表理事

(提案者) 高旗浩会員、笹野恵理子会員、氏原陽子会員

(指定討論者) (世話人で決定する)

(概要執筆) 田中統治代表理事

課題研究Ⅲ：『全国学力・学習状況調査(2007)』の結果をどう読み解くか
—調査結果をふまえ、カリキュラム改善や授業づくりにどう活かすか—

(世話人) 市川博理事、寺西和子理事、八尾坂修理事

(司会) 八尾坂修理事、寺西和子理事

(提案者) 高口努氏、高橋佳生会員、志水宏吉理事

(指定討論者) 田中耕治会員

(概要執筆) 寺西和子理事

課題研究Ⅳ：「国境を越えたカリキュラムの収斂と多様化」

(世話人) 中野和光理事、浅沼茂理事、池野範男理事

(司会) (未定)

(提案者、指定討論者) (未定)

(概要執筆) 中野和光理事

2) 公開シンポジウム(世話人：村川雅弘理事、山口満理事、小泉祥一理事)

(テーマ)「新学習指導要領をどう読み解き、実践に結びつけるか」

(司会) 村川雅弘理事、山口満理事

(シンポジスト) 無藤隆理事、水原克敏会員、他

(指定討論者) 中野和光理事、大澤正子理事

(概要執筆) 村川雅弘理事、山田芳明会員

あわせて、大会プログラム・要旨集録に掲載を依頼する広告について、各種出版社等との仲介者(依頼者)を決定した。

(2) 理事選挙について

第1回選挙管理委員会(2/10)の下記報告が事務局よりなされ、承認された。

・委員長に林尚示会員を互選した。

・選挙日程 4/14 付 選挙案内文書を会員に送付する

4/15～5/12 投票期間(郵送、国内は学会負担、国外は会員負担)

5/12 投票期限(国内外とも必着)

5/17 開票・集計

・団体会員および顧問にそれぞれ理事被選挙権があることを確認した。

・当選理事による代表理事の選挙について、理事会による申し合わせを作成した。

選挙管理委員会のもとで、事務局が代表理事選挙に関する事務を処理する。

(3) 投稿要領の改正について

磯田紀要編集委員会委員長より、『カリキュラム研究』前号論文掲載の同一執筆者による連続投稿の禁止に関する投稿要領の改正案について、資料に基づき提案があった。審議の結果、原案通り承認され、会報で周知をはかることと決した。

(4) 『カリキュラム研究』第17号編集状況

磯田紀要編集委員会委員長より報告があった。投稿論文31本、うち著しい字数超過の6本および期限後到着の1本を不受理とし、24本を審査した。第17号には、論文6本(うち実践研究論文1本)、タイのカリキュラム研究の動向、第18回大会の記録(シンポジウム、課題研究)、図書紹介3編等がそれぞれ掲載される。投稿論文の内容・投稿要領の遵守について、冒頭の「編集に当たって」で会員に注意を喚起する。

(5) その他

1) 小泉研究委員会委員長より、資料に基づき、第18回大会シンポジウムと課題研

究の総括、第19回大会シンポジウムと課題研究、および20周年記念事業について報告があった。シンポジウムおよび課題研究においては、関係者間の連絡をより密にする必要性が指摘された。また、20周年記念事業では、(1)『現代カリキュラム事典』改訂版の発行、(2)3巻程度の講座本の発行、(3)第20回大会の国際シンポジウム、(4)認定資格「カリキュラム診断士」の新設について、引き続き検討する必要がある。

- 2) 磯田研究奨励賞選考委員会委員長より、全理事からの推薦状況をもとに研究奨励賞について検討したところ、複数の理事からの推薦を受けた論文等がなかったため、今回は「受賞者無し」との結論に至った旨、報告があった。
- 3) 中野国際交流委員会委員長より、資料に基づき、次の諸点について報告があった。(1)『カリキュラム研究』第17号に、タイのカリキュラム研究の動向について原稿が掲載される。次回はベトナムに決定している。(2)他学会の動向を参照しつつ、大会での外国語による自由研究発表について、検討を続けている。
- 4) 事務局より、会員現況(3/1時点)が報告された。会員総数728名(一般624名、学生93名、団体11件)。このほか、連絡先不明者11名および会員資格停止者114名である。年会費完納率は74.7%(544名/728名)。
- 5) 次回理事会を第19回大会期間中(7月4日)に開催することを確認した。

——< 事務局から >——

- (1) 【重要なお知らせです】『カリキュラム研究』投稿要領の改正について
投稿要領(1)が下線部の通り改正されました。ご確認ください。

<改正前>

(1) 論文は未発表のものに限る(但し、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない)。連番制による論文投稿ならびに共同研究論文を含む同一執筆者による複数投稿は認められない。原稿の締め切り日は、9月末日(当日消印有効)とする。

<改正後>

(1) 論文は未発表のものに限る(但し、口頭発表、プリントの場合はこの限りではない)。連番制による論文投稿ならびに共同研究論文を含む同一執筆者による複数投稿は認められない。また、前号に掲載された論文の同一執筆者の連続投稿は認められない。原稿の締め切り日は、9月末日(当日消印有効)とする。

- (2) 平成20年度分 会費納入のお願い

3月末で会計年度が変わります。平成20年度分の年会費の納入をお願いします。理事会で確認されております通り、「大会発表者は、原則として当該年度までの年会費を大会終了時までには納入のこと。」ですので、第19回大会での研究発表を予定されている会員は、とくにご注意願います。

学会費未納の方は、宛名ラベルのお名前の下に、未納年度を記載しております。振込用紙をご利用になり、できるだけ早く納入してください。

(年会費：一般6,000円、学生3,000円、法人10,000円)

- (3) 住所変更等の届け出について

異動の時期となりました。連絡先住所、ご所属等が変更になった場合、会員名簿の

最終ページ用紙のコピー、もしくはホームページ（下記 URL 参照）の「会員（入会等）」のページ下部にある住所変更用紙を利用して、事務局までお送り願います。

（４）退会手続きについて

退会は、事務局宛に氏名、住所、所属ならびに退会希望年度をご連絡いただければ、手続きを開始します。お申し出のあったその月一杯で退会となります。ただし、年 1 回発行の学会誌の発送手続きの開始後（7 月）に退会をお申し出の方には、その年度の年会費は納入していただきます。もし、年会費納入ができない場合には、お手元に届きました当該年度の学会誌を事務局までお送りください（返送の送料はご負担願います）。学会誌の在庫管理のため、余剰は少なく印刷しております。ご理解下さいますよう、お願い申し上げます。

〒305 - 8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学教育学系内
日本カリキュラム学会 事務局
TEL 029-853-6724
FAX 029-853-6761
振替口座番号：00880 - 0 - 69090
E - mail : jscs@nifty.com
URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>

※第 19 回大会関連のお問い合わせは、下記枠内の連絡先をお願いします。

日本カリキュラム学会 第 19 回大会 ご案内

- ・会場：鳴門教育大学（〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島 748 番地）
- ・日程：2008 年 7 月 5 日（土）、6 日（日）
- ・自由研究発表の申込締切日：2008 年 4 月 21（月）必着（原則 e メールで）
- ・自由研究発表の要旨提出締切日：2008 年 6 月 2 日（月）必着
- ・大会プログラム発送予定日：2008 年 5 月下旬～6 月上旬

連絡先：連絡及び対応の正確さを期するため、できる限り e メールでお願いします。

大会全体に関する問い合わせ

村川雅弘 murakawa@naruto-u.ac.jp 088-687-6685

梅津正美 umezu@naruto-u.ac.jp 088-687-6373

発表やプログラムに関する問い合わせ

草原和博 kusahara@naruto-u.ac.jp 088-687-6371

西村公孝 knishi@naruto-u.ac.jp 088-687-6366

会計や広告に関する問い合わせ

橋川喜美代 hasikawa@naruto-u.ac.jp 088-687-6299

<大会での自由研究発表を予定されている会員は、年会費を完納願います>